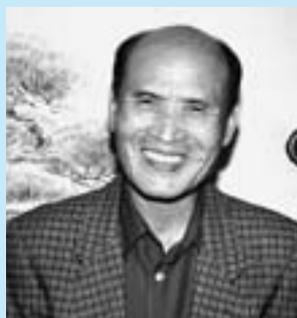


平成 18 年 3 月 25 日竣工予定の「昭和橋」



明和町の新名所と なるように期待



昭和橋への期待を話す折原さん

昭和橋開通記念式典において3世代夫婦での渡り初めを行う予定の折原一雄さん（大佐貴）は、昭和橋への期待を次のように話してくれました。

「今までの橋は道幅も狭く、日常的に発生している交通渋滞など、無くてはならない橋ですが地域に住む人たちにとってはけっして喜ばしい状況ではなかったようです。新しい橋は、歩道部もゆったりしているようで、地域の人たちが気軽に散歩やサイクリングができるような、人が集まれる新名所になるといいですね」と新しい橋への期待を話してくれました。



新橋上部工事（桁の上から群馬側を望む）



平成 11 年から始まった橋脚建設

7年の工期を経て間もなく完成

新しい昭和橋は平成4年に測量業務に着手し、平成5年から10年にかけて調査設計を行い平成11年より昭和橋の架換4車線化工事が始まった。

この工事は一期工事として現況下流20m地点に2車線の11径間連続非合成桁橋を架設する工事であり、埼玉側取付道路430mと橋梁656mおよび群馬側取付道路674mの延長1.8kmを整備するもので、平成18年3月25日完成を目指し現在急ピッチで工事が進められている。

新設された橋は、延長656m、総幅員11m（うち歩道部3.5mで、11の橋桁を連続で

連結し橋桁部の継ぎ目が無い、緩やかなアーチ型の橋で、現在の橋より約3mほど高く、群馬側から埼玉側までの道路には継ぎ目の無い、スムーズな走行が可能となっている。

着工から完成まで7年間の工事が間もなく完成を迎えようとしている。予定されている昭和橋開通記念式典では、群馬県・埼玉県関係者ら約240人が招待され、橋の完成を待ち望んだ地域の人々によってさまざまなアトラクションが行われる予定である。この式典では、明和町から折原一雄さんから3世代夫婦が出席し渡り初めが行われる。